

地域をおもしろくする

農福連携の 新たな展開

農業と福祉が連携をして
障害者の活躍の場を作る取組である「農福連携」は、
人手不足の農家・農業法人のところに
障害福祉事業所がお手伝いをするこ
とで大きく拡大しました。

その後、障害福祉事業所が農業だけでなく
その6次産業化にも取り組んだり、
規格外の農産物の高付加価値化や
自然循環型の農業に取り組む動きも広がっており、
農福連携の取組を中心にした地域おこし、
地域社会の再構築の動きも見られます。

さらには、多様な人達が
一緒に農園で農作業を行うことで、
ひきこもり状態の方々の社会復帰や
認知症の進行防止を目指した
ユニバーサル農園の取組も各地で出てきています。
こうした農福連携の多様化、
新たな動きを紹介することで、
農福連携の魅力をお伝えしたいと思っています。

キーワード：

農福連携
ユニバーサル農園
地域おこし
地域共生社会

対象者：

農業事業者
商工業事業者
福祉関係事業者
町民等

講師：

千葉大学園芸学部 教授

吉田行郷先生



1985年東京大学農学部卒業、同年農林水産省入省。2020年4月農林水産省・農林水産政策研究所次長。2021年3月農林水産省を退官。同年4月より現職。

専門は農福連携、麦類のフードシステム、集落営農、震災復興等。2008年より農業分野での障害者就労の場・居場所づくりを目指す『農福連携』の研究を開始。論文として「農福連携における施設・地域のつながりと組織運営、発達障害研究」、「企業出資の障害者福祉施設の農業分野への進出の意義と課題」、「農業分野での労働力不足下における農福連携の取り組みの現状と展望」等がある。

また、著書として『農福連携が農業と地域をおもしろくする』、『日本の麦拡大する市場の徹底分析』等がある。

2025年

1月27日(月)

14:00 ~ 15:30 (質疑応答含む) 13:30 開場

手続きの必要はなく
全て自由席です

参加
無料

小布施町公民館講堂
(小布施町役場 3階) 長野県小布施町大字小布施 1491-2